

主日礼拝

2026 年 09 月 27 日
午前 10 時 30 分前奏 「揺るがぬ主の教会 (395 番)」
(C.キャラハン)

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

「家を建てる者の退けた石が
隅の親石となった。
これは主の御業
わたしたちの目には驚くべきこと。
今日こそ主の御業の日。
今日を喜び祝い、喜び躍ろう。」

(詩編 118:22~24)

頌栄 27 「父・子・聖霊」



ち ち 子 せ い れ い の ひ と り の 主 よー、さ か え と ち
か ら は たー だ 主 に あ れー、とー こ し え ま でー。
アーメン。

交読詩編 36:6~10

司式者：主よ、あなたの慈しみは天に

会衆：あなたの真実は大空に満ちている。

司式者：恵みの御業は神の山々のよう

あなたの裁きは大いなる深淵。

会衆：主よ、あなたは人をも獣をも救われる。

司式者：神よ、慈しみはいかに貴いことか。

会衆：あなたの翼の陰^{かげ}に人の子らは身を寄せ

司式者：あなたの家に滴る恵みに潤い

会衆：あなたの甘美な流れに渴きを癒す。

司式者：命の泉はあなたにあり

会衆：あなたの光に、わたしたちは光を見る。

賛美 21 「主をほめたたえよ」

Thandhaanai thudhippomee
詞：V. Maasilamaani, 1858?—1932THUDHI (TANDANEI)
曲：V. Maasilamaani, 1858?—1932

1 主をほめたたえよ。うたえハレルヤ。
2 主のすくいをしれ。十字架のうえで
3 主をむかえよ、いま。はなむこイエスを
よろこびをもて主をほめたたえよ。
なしとげられた主のすくいをしれ。
いわいのせきへ。主をむかえよ、いま。
手をうちつつことをならせうたえほめよかみのみわざ。
おおきなあいつくしめで主はあなたをみいだされた。
みよさかえにかがやくおう。うたえよろこべハレルヤー。
みわざ。主をほめたたえよ。
された。主をほめたたえよ。
ヤー。主をほめたたえよ。

- 1 主をほめたたえよ。歌えハレルヤ。 2 主の救いを知れ。
喜びをもて 十字架の上で 成し遂げられた
主をほめたたえよ。 主の救いを知れ。
手をうちつつ 琴をならせ、 大きな愛 慈しめで
歌え ほめよ 神のみわざ。 主はあなたをみいだされた。
主をほめたたえよ。 主をほめたたえよ。
3 主を迎えよ、今。 花婿イエスを 祝いの席へ。
主を迎えよ、今。 見よ 栄えに輝く王。
歌え よろこべ ハレルヤ。
主をほめたたえよ。

祈祷

献金

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくは み名をあがめさせたまえ。
み国を来らせたまえ。
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、
悪より救い出したまえ。
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
なればなり。
アーメン。

賛美 32 「キリエ・エレイソン」



キ リ エ・エ レ イ ソ ン、 キ リ エ・エ レ イ ソ ン、
主 よ、あ わ れ み を。 主 よ、あ わ れ み を。
キ リ エ・エ レ イ ソ ン。
主 よ、あ わ れ み を。

聖書 コリントの信徒への手紙Ⅰ 3:10~17

新約(新共同訳)P302

10 わたしは、神からいただいた恵みによって、熟練した建築家のように土台を据えました。そして、他の人がその上に家を建てています。ただ、おのおの、どのように建てるかに注意すべきです。11 イエス・キリストという既に据えられている土台を無視して、だれもほかの土台を据えることはできません。12 この土台の上に、だれかが金、銀、宝石、木、草、わらで家を建てる場合、13 おのおのの仕事は明るみに出されます。かの日にそれは明らかにされるのです。なぜなら、かの日が火と共に現れ、その火はおのおのの仕事がどんなものであるかを吟味するからです。14 だれかがその土台の上に建てた仕事が残れば、その人は報いを受けますが、15 燃え尽きてしまえば、損害を受けます。ただ、その人は、火の中をくぐり抜けて来た者のように、救われます。16 あなたがたは、自分が神の神殿であり、神の霊が自分たちの内に住んでいることを知らないのですか。17 神の神殿を壊す者がいれば、神はその人を滅ぼされるでしょう。神の神殿は聖なるものだからです。あなたがたはその神殿なのです。

賛美 531 「主イエスこそわが望み」

Be Thou my vision
詞：アイルランドの賛美歌、8世紀 曲：アイルランド民謡

1 主 イエ ス - こ そ わ が の ぞ み、
2 主 イエ ス - こ そ わ が つ る ぎ、
3 こ こ ろ - み の 世 に あ り て

わ が あ こ が れ、 わ が う た。
わ が よ ろ こ び、 わ が た て。
つ み の ち か ら、 死 の や み

ひ る - も - よ る も み ち び く -
た だ - 主 - こ そ が わ が か み -、
と り - か - こ み て せ ま れ ど -

わ が ひ か - り、 わ - が ち か ら。
わ が た か - ら、 わ - が す べ て。
な お 主 こ - そ、 わ - が の ぞ み。

- | | |
|--|---|
| 1 主イエスこそ わが望み、
わがあこがれ、わが歌。
昼も夜も みちびく
わが光、わが力。 | 2 主イエスこそ わがつるぎ、
わが喜び、わが盾。
ただ主こそが わが神、
わが宝、わがすべて。 |
|--|---|
- 3 こころみの世にありて
罪の力、死のやみ
とり開みて 追れど
なお主こそ、わが望み。

説教 「キリストの土台に立つ教会」

賛美 510 「主よ、終わりまで」

O Jesus, I have promised
詞：John E. Bode, 1816-1874 曲：Arthur H. Mann, 1850-1929

1 主 よ、 お わ り ま で し も べ と し て
2 こ の の 世 の さ き ま で 目 も べ と し て
3 し ず か に き よ い み 声 に よ り
4 主 は や く そ く お 守 り くだ さ い、 主 よ、 私 を。

あ な た の 心 の あ ら し 吹 き あ れ て も、
お か かり の 日 ま で み ち び か れ る。

世 の き た た か と い は も は う げ し く て も、
こ こ ろ は そ の あ ら し に ち か い を た て、

主 が み か た な ら お そ れ は な し い。
お ま も り く だ さ い、 主 よ、 み 声 を。

- | | |
|---|---|
| 1 主よ、終わりまで しもべとして
あなたに仕え しがいます。
世のたまたかは かげくても、
主が味方なら 恐れはない。 | 3 静かにきよい み声により
お語りください、主よ、みことば。
心のあらし 吹きあれても、
聞かせてください、主よ、み声を。 |
| 2 この世のさかえ 目を感かし、
誘惑の声 耳に満ちて、
敵は外にも 内にもある。
お守りください、主よ、私を。 | 4 主は約束を かたく守り、
終わりの日まで みちびかれる。
私はここに 誓いを立て、
主よ、終わりまで しがいます。 |

派遣

司式者 主は言われます。
「わたしは誰を遣わすべきか。」
会衆 わたしがここにおります。
わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン

ア - メ ン。 ア - メ ン。 ア - メ ン。

後奏 「感謝の詩編歌 (527 番、7 番)」 (M.レーガー)

司 式：向井 希夫牧師
説 教：鎌野 真牧師
奏 楽：玉理 照子